

令和8年7月3日

お知らせ

学校名	県立倉敷まきび支援学校
担当者	副校長 清岡 憲二 教頭(高等部) 大原 誉弘
電話番号	086-697-1233

「これって大丈夫？」を学ぶ！ 大学生と消費生活センターがタッグ ～特別支援学校で「実践型」消費者教育を実施～

岡山県立倉敷まきび支援学校 高等部職業コース3年生と川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療コミュニケーション学科の学生、大学教員、さらに岡山県消費生活センター職員が連携し、消費者教育に関する協働学習を年間4回実施しています。

昨今、ネット通販、SNS詐欺の高度化、若年層へのマルチ商法や副業詐欺のターゲットにされやすい状況が続いているとメディアにも取り上げられています。

本取り組みでは、大学生が授業内容の企画や教材作成を行い、支援学校生徒に分かりやすく伝える工夫をしながら授業を進めています。授業では、「契約とは?」、「若者に多い消費者トラブルは?」、「卒業後の消費生活に困らないために」など日常生活に必要な内容について学習しています。

大学生は、相手に分かりやすく伝える工夫を行いながら教材作成や授業運営を担当し、支援学校生徒は、体験的な学習を通して、実生活に生かせる力を学んでいます。また、本取り組みは、大学生にとっても医療・福祉分野に必要なコミュニケーション力や支援方法を実践的に学ぶ機会となっており、双方にとって意義ある地域連携活動となっています。



記

- 1 日 時 令和8年7月10日(金曜日)10時30分～12時
- 2 会 場 岡山県立倉敷まきび支援学校 3-1教室
倉敷市真備町箭田 4682-1
- 3 テ ー マ 「消費者トラブルについて考えてみよう！」
- 4 講 師 川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療コミュニケーション学科
被害防止応援団「吉備団」の学生(指導教授 田村 久美 准教授)
- 5 対 象 者 岡山県立倉敷まきび支援学校 高等部 職業コース3年生 16人